

どうぶつへの 点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ

プログラム

Lecture 1 13:05 ~ 14:05

●高濃度ビタミンC点滴療法：体に優しいがん治療 体に優しく今からすぐできるがん治療を学びませんか？

高濃度ビタミンCは、天然の抗がん剤として働き、副作用がなく、QOLの改善を期待できます。最近のビタミンCの研究は、がんのみならず新型コロナウイルスを含むウイルス疾患、幹細胞の機能にも影響し、体の代謝に重要な働きを示す多くの研究報告があります。日常の動物の臨床では、がん治療はもとより、椎間板ヘルニア、関節疾患、皮膚疾患、消化器疾患など様々な疾患にその効果が注目されております。点滴療法の基礎よりご紹介します。

●マイヤーズ・カクテル点滴療法：がん治療から慢性疾患、さらにアンチエイジングに 有効な栄養点滴療法を治療のメニューにプラスしませんか？

病気の動物は、体の分子レベルの栄養素が枯渇しています。病気の動物に高濃度のビタミンやミネラルを点滴し、血液中の栄養濃度を上昇させて栄養的効果と薬理学的効果を期待します。経口投与が出来ない動物は口からサプリメントを摂るよりも即効性がありかつ効果が高いため、病気で弱っている体にはとても効果があります。高濃度ビタミンC点滴療法に併用可能です。腫瘍の栄養補給や腫瘍の随伴症候群等による体力低下、さらに肝臓病、腎臓病、消化器疾患、皮膚病、脊椎・関節疾患等の慢性疾患、老齢疾患さらにアンチエイジングなど日常の多くの疾患に活用が可能な点滴療法です。

Lecture 2 14:15 ~ 15:15

●CBDオイル：新しいサプリメントとしての基礎と使い方

CBDオイル（カンナビジオール）は麻より抽出される天然成分です。THCという神経に作用する成分は含まれていません。ヒトを含めた脊椎動物には内因性カンナビノイドを持ち、それを介して様々な機能を制御しています。CBDオイルは安全で、毒性がなく、強い抗酸化作用、抗がん作用、抗炎症作用、神経作用、免疫作用、アンチエイジングなどの作用を有します。当院では、てんかん、認知症、夜鳴き、徘徊、前庭疾患などの神経症状や関節・椎間板疾患、皮膚疾患、消化器疾患、各種のがんの補助治療等に使用しています。CBDオイルの臨床の基礎から症例を含めてご紹介します。

●オーソモレキュラー療法：様々な病気の予防・治療に

オーソモレキュラー栄養療法（orthomolecular medicine）は、「栄養療法」「分子栄養学」「分子整合栄養医学」とも称され、身体の細胞を構成する分子のバランスの乱れを栄養素を用いて本来の体の状態になるように整えていく治療方法です。自らの自然治癒力を高め、病気の進行を防ぎ、症状の改善を目的とします。さらに、病気の予防にも役立ちます。獣医療ではじみの少ない医療ですが、始めてみませんか？

質疑応答

15:25 ~ 15:40